

## 東北ブロック下水道ビジョン策定に関する調査

全体期間

2003.7～2004.3

### (目 的)

下水道は、公衆衛生の向上や浸水の防除など快適な国民生活にとって欠くことのできない役割をもっている。近年、地球環境の保全に対する意識の高まりとともに、公共用水域の水質保全や健全な水循環、良好な水環境の保全など、下水道の果たす役割はますます重要になっている。

このような中、社会資本整備重点計画と整合を図りつつ、東北地域における下水道事業の課題を整理・分析し、その対応策を検討するとともに、学識経験者等で構成する委員会からの提言を受け、さらにPIの実施等により地域のニーズを十分に反映した今後の下水道整備の基本方針となる「東北ブロック下水道ビジョン」を策定したものである。

### (経 過)

「東北ブロック下水道ビジョン策定委員会」（委員:下水道等の専門家のほか、NPOの代表、行政代表等で構成）では、東北ブロックの地域特性や将来像、下水道事業の現状を考慮した上で、将来の生活環境や水環境等を改善するための目標像の審議を行った。また、地域に適した下水道整備目標や重点施策を策定するため、各県市の下水道関係者（6県1市）、各市町村長や一般住民の方にアンケート調査などに協力をいただき、開かれた形で議論し、「みちのく下水道ビジョン」をとりまとめた。また、ブロックの下水道事業を取り巻く環境（地域特性、将来像等）、国の下水道整備と管理の重点化の方向、および東北ブロックの下水道事業の現状や新たな役割への対応と課題の関連を整理した。

### (まとめ)

東北ブロック下水道ビジョンのテーマを「みちのく下水道ビジョン～豊かな心を育む水と大地を次の世代へ～」とし、「衛生」「安全・安心」「(水)環境」「社会への貢献」「コミュニケーション（連携と協働）」といったまちづくりや地域づくりの視点から、5つの目標像（キャッチフレーズ）を設定した。これらは、東北地方の地域特性や将来像、下水道事業の現状や新たな役割等から挙げられた課題、県市および住民への下水道事業に関するアンケート、国の方向性などをもとに設定した。

1. 快適なくらしの実現：水洗化により、誰もが享受する衛生的で心地よい生活環境をつくる。
2. 雪や災害に強いまちづくり：都市浸水や地震等に強いライフラインを整備し、雪対策に貢献する。
3. 美しい東北の水環境：水循環の保全・次世代に引き継ぐ豊かで美しい東北の水環境、水循環を保全する。
4. 環境への貢献：バイオマスの有効利用を推進し、地球温暖化防止等の環境対策に貢献する。
5. 連携・協働の推進：他事業との連携やNPO等との協働による地域に開かれた下水道事業を推進する。

タイトル：みちのく下水道ビジョン～豊かな心を育む水と大地を次の世代へ～

1. 東北ブロックにおける下水道事業の現状と社会的動向
  - ・下水道の現状での役割と新たな役割、地勢・気候と自然災害の状況、社会的特性
2. 東北ブロックの下水道事業に係る課題の整理
3. 東北ブロックの下水道事業に係る目標像の提案
  - ・下水道事業に係る課題の再整理、国の下水道整備と管理の重点化の方向整理、下水道に係る目標像
4. 中長期的方向性と取り組み事例
5. 目標像を実現するための課題
  - ・目標像を実現するための課題整理、民間（NPO等）との協働、PIの活用、技術開発、維持管理、PFIの活用
6. 重点的に進める目標
  - ・各目標像での取り組みの整理、目標像実現のための下水道支援策、整備局と各自治体の取り組み

国土交通省東北地方整備局からの受託研究

研究担当者：成田 愛世，打田 卓実

キーワード

下水道ビジョン，水環境，循環型社会